

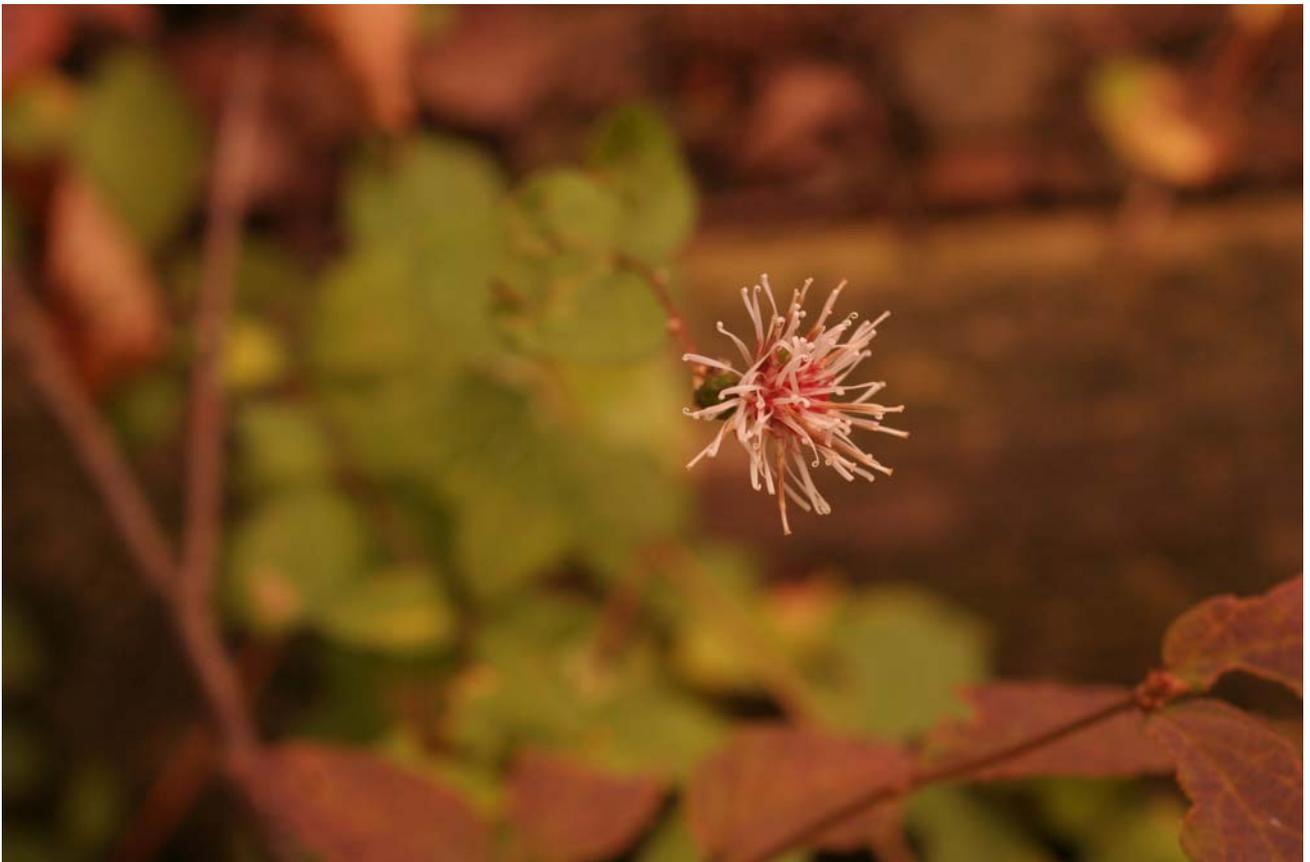
公園内で見られる植物

写真は11月10日(土)
自然観察会で見られた
植物です



コバノガマズミ (スイカズラ科)

果実／核果。長さ5～7^{ミリ}の卵球形で、9～11月に暗赤色帯に熟す。核は長さ5～7^{ミリ}。



コウヤボウキ (キク科)

花／9～10月、本年枝の先に直径1^{センチ}ほどの頭花を1個ずつつける。頭花は白い筒状花が10数個集まったもので、筒状花は長さ1.5^{センチ}。



ツルリンドウ (リンドウ科)

長さ 40～80 ㍍になるつる性の多年草。果実は液果となり、ほぼ球形で紅紫色。柄は花のあと長くのびて残存する花冠よりつきだす。液果の頃には花柱が残っている。



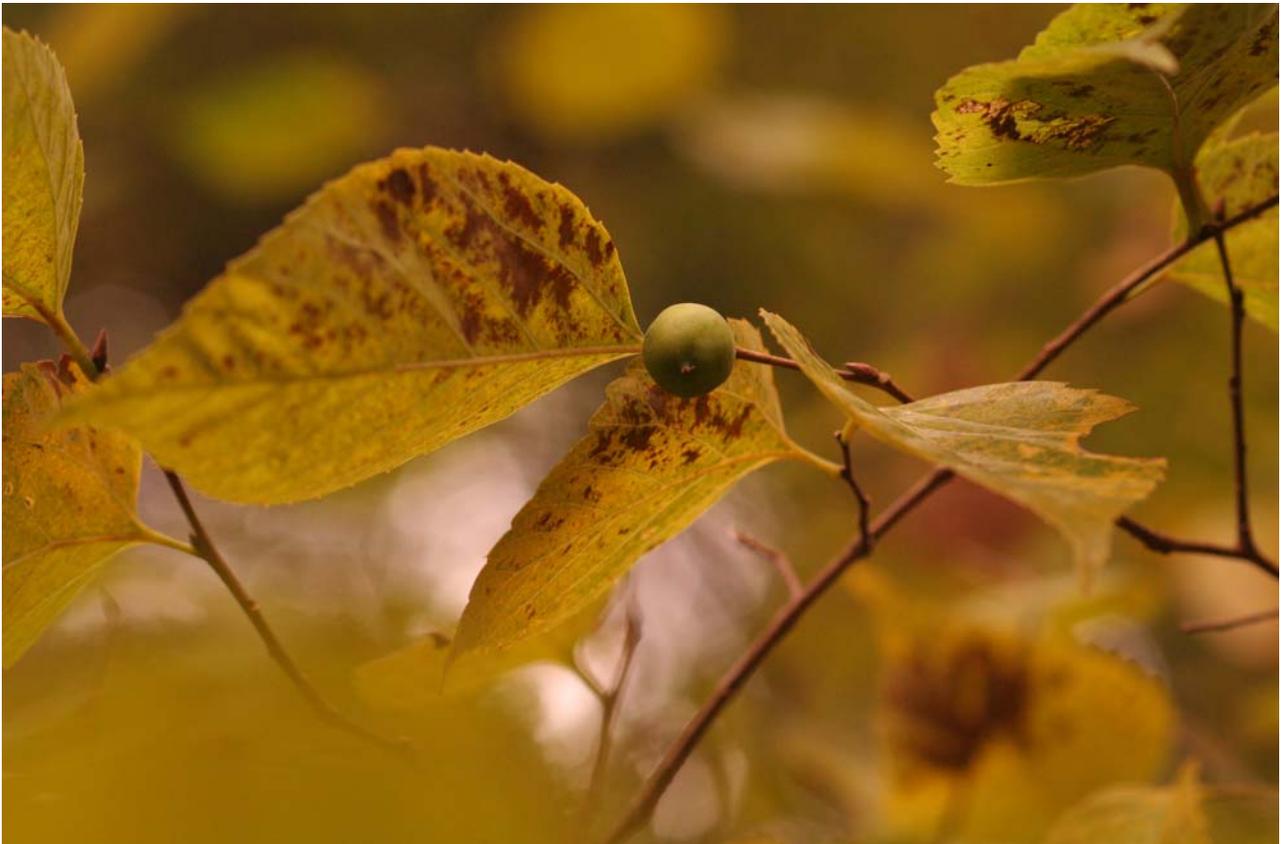
ヤブコウジ (ヤブコウジ科)

常緑小低木。高さ 10～20 ㍍。果実／核果。直径 5～6 ㍉の球形、10～11 月に赤く熟す。



カマツカ (バラ科)

果実／ナシ状果。長さ 8～10 ㎜の倒卵形または楕円形で、10～11 月に赤く熟す。



ムクノキ (ニレ科)

果実／核果。直径 7～12 ㎜の球形で、10 月に紫黒色から黒色に成熟する。果肉は干し柿に似て甘い。



ラクウショウ (スギ科)

落葉高木。高さ 20 ㍍、直径 70 ㍍ほどになる。ほかの樹木が根腐れをおこすような水湿地でもよく育つ。



ヤマウルシ（ウルシ科）

葉は3出または奇数羽状複葉。花は雌雄別株。過敏体質の人は、この木に近寄っただけでかぶれる。カエデやツタと並んで、ヤマウルシの紅葉は秋の山の風物詩。



オケラ (キク科)

若芽は食用になる。地下茎は芳香があり、健胃剤に用いるほか、正月の屠蘇にも使われる。